

# 2018 年度

## 中国留学報告書

留学先：北京師範大学

留学期間：8月27日（月）～1月7日（月）

新潟国際情報大学  
国際文化学科  
学籍番号：21017082  
田中奏恵

## 目次

1	研修先及び実習期間	3
2	研修先概要	3
3	研修目的	3
4	研修内容	4
	4 - 1 研修のスケジュール	4
	4 - 2 研修の詳細	5
5	所感	6
6	おわりに	7
	謝辞	7

## 付録

	研修日誌	8
--	------	---

## 1 留学先及び実習期間

留学先：北京師範大学 漢語文化学院

研修期間：平成 30 年 8 月 27 日（月）～平成 31 年 1 月 7 日（月）

※帰国は 1 月 7 日（月）

## 2 留学先概要

### (1) 大学について

北京師範大学は中国の首都である北京に位置している。100 年以上の歴史があり、北京大学、清華大学、中国人民大学とともに北京四大大学とされている。在學生は 2 万 3000 人以上で、非常に大きな大学である。敷地内には、体育館、バスケットコート、テニスコート、競技場、プールなど多くの施設が完備されているほか、寮も多くあるため多くの在學生は寮に住んでいる。また、多くの留學生が在籍しているため、学内には多くの食堂があり、そこではいろいろな国の料理を食べることができる。

### (2) 大学で行われている教育について

北京師範大学は、質の高い教育を行っていることと、世界各国から多くの留學生を受け入れていることが特徴である。言語のクラスは、学期初めに行うクラス分けテストの成績によって中国語の習得レベルごとに分けられるため、中国語が苦手であっても自分のレベルに応じた授業を受けることができる。また 1 クラスの人数は 15 人前後と少人数であるため、先生方は 1 人 1 人丁寧に指導してくれる。北京以外の地域の食文化や歴史を学ぶ機会として、中間テスト終了後に 1 週間の研修旅行があるため、地域の特産物や歴史なども直接学ぶことができる。

## 3 留学目的

今回の留学の目的は、中国語能力の向上である。普段大学で学んでいる週 3 回の授業と自主学習だけでは、その成果を将来十分に発揮できないと感じた。実際に中国で生活し、日常的に中国語を使用することで、中国語レベルの向上を目指す。留学期間中には語彙を増やし HSK4 級の取得も目指す。その後も上の級を取得するために学習を続けていく。

日常会話能力をより向上させるため、普段の授業と予習復習に加え、同世代の中国人と交流することで、正確な発音や口語的な表現も身に着ける。また現代中国の習慣など、教科書には載っていないことを中国人の友人に聞いたり、日本の風習なども情報交換していく中で、交流を深めていく。これらを目標とし、今回の留学に挑んだ。

## 4 研修内容

以下から研修の内容を記述する。

研修期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

#### 4 - 1 研修のスケジュール

研修期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日(曜日)	午前	午後
8	27(月)		到着、入寮
	28(火)	銀行口座開設、携帯電話購入	
	29(水)	入学手続き	
	30(木)		クラス分けテスト
	31(金)	入学式	
9	1(土)		クラス発表
	2(日)	テキスト購入	
	3(月)	授業開始	
	8(土)		日中交流会
	22(土) ～ 24(月)	内モンゴル旅行	
10	21(日)		日中交流会
11	1(木)	中間テスト	
	2(金)	中間テスト	
	10(土)	HSK 試験	
	12(月) ～ 17(土)	研修旅行 江西省	
	25(日)		日韓交流会
12	16(日)		北京の夜
	27(木)	期末テスト	
	28(金)	期末テスト	
1	4(金)		卒業式
	7(月)	帰国	

#### 4 - 2 留学の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

##### i) 入学手続き

留学生事務室にてパスポートや保険書類などを提出し、学生証・学生カード(学内での買い物、施設利用時に用いる)を受け取る。また、学内の規則や注意事項が書かれた

便覧ももらう。

ii) クラス分けテスト

クラスを中国語のレベルごとに分けるためのテスト。全員でリスニング・筆記テストを行ったのち、教員と一対一で面接を行う。

iii) 入学式

9月から入学する学生が集まり、先生方の話や学内での注意事項を聞く。式は2時間ほど。国情生は全員スーツを着用して参加した。

iv) クラス発表

テストの結果によりクラスが決まる。クラス発表と同時に時間割、班主任(クラス担任)も決まる。

v) テキスト購入

クラスのレベルに応じた、会話・聴力・読書のテキストを購入する。

vi) 日本語学科の学生との日中交流会

北京師範大学日本語学科の学生と、事前に準備しておいた出し物を披露しあう。自己紹介やフリートークなどで話した中国人学生と連絡先を交換したりして友達になることができる。彼らも日本語を学んでいるため、お互いに日本語で話したり中国語で話したりもできる。

vii) 内モンゴル旅行(希望制)

中国の節句である中秋節の3日間、授業は行われないため、内モンゴル旅行に参加した。日本人向けで日本語ガイド付きのツアーであるため、安心して参加できる。

viii) 中間テスト・期末テスト

筆記のテストは2日間にわたって行われるが、口頭試験はこれよりも前に行われる。テストを受ける教室は、普段授業を受けている教室と違うため注意が必要である。

ix) HSK 試験

HSK の試験を留学中に受験することができる。インターネットで出願でき、受験校や受験方法を選ぶことができる。教科書の内容が HSK4 級レベルであるため、授業をしっかりと受けていれば、十分な対策になる。

x) 修学旅行

今回の行き先は江西省で期間は1週間。博物館や伝統的な街並みを見学しに行った。

xi) 日韓交流会(運動会)

日本人会が主催する日本人と韓国人が出席できるイベント。日本人と韓国人が入り混じったグループを2つに分けて対戦した。

xii) 北京の夜

各国の留学生が自国の踊りや歌を披露する。大きな会場で行われ、来賓も出席するためとても盛り上がるイベントである。パフォーマンスをする側として参加してもチケットをもらって観客としても参加することができる。

## 5 当初目的・目標への達成度

今回の研修の目的の達成度について、それぞれまとめる。

i) 中国語スキルの向上

留学前と期間中の中国語スキルの向上は明らかである。授業では、だんだん先生の話す中国語を聞き取れるようになっていたり、単語を使って短文を作るという課題にもだんだん時間がかからなくなったりと上達を実感した。また11月にHSK4級を受験した際には、授業中に習ったことが多かったことや毎日中国語に触れていたため合格することができた。

ii) 日本人以外との交流

クラスメイトや日本語学科の中国人と交流することができた。話すときには日常的に中国語を使うことで、日常会話は上達でき、彼らと仲良くなることができた。クラスメイトは韓国、イギリス、タイ、スイス、イタリア、アイルランド、インドネシア、ロシアから来た人がいて、授業で習いたての中国語を使って会話することができた。中国人の友人とは、北京を案内してもらったり一緒にご飯を食べたりして仲良くなることができた。

iii) 異文化を理解・体験する

留学期間中に行った旅行などで、北京だけではなく江西省や内モンゴルの歴史や文化を学ぶことができた。江西省の歴史的建造物や特産物である、陶器を作っているところを見学したり実際に陶器づくりを体験することができた。内モンゴルでは、内モンゴルでよく食べられている羊肉を初めて食べたり、ラクダの背中に乗った。また、授業中や中国人との会話の中で比較されたお互いの文化について自分も改めて気づかされたこともあった。

## 6 反省・課題

4か月半という短い時間ではあったが、異国の地で生活し、毎日中国語に触れながら勉強でき、確実に自分自身も成長し中国語スキルも向上した。しかし周りに日本人もいるということから、ついつい日本語で話してしまったりすることもあった。クラスメイトや中国人と話すことも、自分から話しかけないと友達ができないし、会話能力も上達しない。友達を作ろうと思ってとった行動は後悔することはなかったし、積極的になれたと感じる。

今後は留学中に増えた語彙をさらに増やし、留学中の経験を無駄にしないよう、検定試験を受けるなどして学習を続けていきたい。

## 謝辞

今回、北京師範大学漢語文化学院にて、寮や大学の手続き、学校生活のサポートや相談にもものってくださいました黄微さん、リーディングの李彤先生、スピーキングの郑甜甜先生、リスニングの郭韵先生、その他大勢の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。そして日本での中国語の学習、現地サポート、留学準備の際に指導してくださった、區建英先生、佐藤若菜先生、心より感謝申し上げます。最後に、新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、中国への留学参加が実現し、貴重な経験ができたことを、心から感謝いたします

## 付録：留学日誌

8月27日 月曜日 午後
出発 14:35 新潟空港
担当 區建英先生
内容 ・新潟空港にて先生と合流 ・新潟空港から成田空港まで飛行機で移動 ・成田空港で乗り換え、北京空港まで飛行機で移動 ・北京空港で入国審査 ・空港から北京師範大学の寮までバスで移動

### 移動の所感

すべて飛行機での移動であったため、短い時間で移動がすんでよかった。寮に着いたのが遅かったため、そこから入寮手続きなどがあり、初日は疲れた。

8月28日 火曜日
銀行口座開設、携帯電話購入
担当 區建英先生、黄微さん
内容 ・銀行に行き口座を開設 ・持参した現金を口座に入れる ・携帯電話を購入し、銀行口座と連結する

### 内容

中国では電子マネーを利用して生活するため、銀行で口座を開設したのち携帯電話を購入し、口座と携帯電話をつながるように設定する。口座には持ってきた中国元を入金した。

8月29日 水曜日 午前
入学手続き
場所 留学生办公室
内容 ・新入生の登録手続き



### 入学手続き時の所感

午前中に區建英先生と黄微さんと一緒に留学生办公室に行って新入生入学手続きを行った。手続きの際中国語で聞かれたりするが、北京師範大学本科生の日本人がサポートしてくれるのでスムーズに行うことができた。

8月30日 木曜日 午後
クラス分けテスト
場所 教二楼
内容 ・筆記テスト ・面接

### テストの所感

筆記テスト(リスニング・選択問題・造句)と先生と1対1の面接があった。これらの結果をもとにクラス分けされる。文章を読んで答える問題は知っている漢字が所々あったりして想像して答えることができたが、リスニングは中国語の早い発音に慣れていなかったため、とても苦戦した。

9月3日 月曜日
授業開始
場所 教二楼
授業内容 ・言語科目(读写・会話・听力)が週に3回ずつ ・文化科目(書道)が週に1回ずつ ・1日にある授業数は2~3コマ

### 内容および所感

クラスの人数は15人ほどで少人数制であったため、先生はひとりひとりの弱点を指摘しながら授業を進めてくれたので確実に上達した。初回の授業は自己紹介をしたり先生の話の聞いたりした。最初の1か月半は先生の話が理解できず、とても悔しかったが、語彙増えるにつれて徐々に聞き取れるようになったことがうれしかった。パワーポイントを使った発表の宿題や単語テストの準備、予習などで放課後も勉強していた。

9月8日 土曜日 午後
日中交流会
場所 主楼
内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介</li> <li>・北京師範大学日本語学科の中国人と出し物を披露しあう</li> <li>・中国人2～3人と国情生2人で1つグループを作ってトークタイム</li> </ul>

### 交流会の所感

日本語学科の人は日本が大好きな人が多く、アニメやドラマの話で盛り上がった。出しものは、ダンスや歌やクイズを披露しあった。この場で知り合った中国人と友達になり、留学中観光やごはんに連れて行ってもらったりして、留学生活が楽しいものとなった。

9月22日土曜日～9月24日月曜日
内モンゴル旅行
<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝5時にバスに乗って出発</li> <li>・1日目 草原にて乗馬、夕食後キャンプファイヤー</li> <li>・2日目</li> </ul>

### 内容および所感

9月ではあったが内モンゴルは北京より北に位置するため、とても寒かった。事前に防寒対策のしっかりとした洋服やコートが必要である。北京から内モンゴルまではバスで10時間以上かかった。出発が早かったため、車中では寝ている人が多かった。内モンゴルでよく食べられている羊肉は臭みがあって好みが分かれる。乗馬もラクダに乗ることも貴重な体験だった。参加してよかった。

11月1日木曜日～11月2日金曜日
中間テスト
内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・读写・会話・聴力のテスト</li> </ul>

### 内容および所感

難易度としてはそれほど高いものではなかった。授業中に範囲の復習をしてくれるのと、先生が事前にテストの形式を説明してくれるため、対策をすれば解けない

問題ではない。会話だけ口頭試験もあるので、それは別日に行われる。口頭試験で自分の考えをうまく伝えられず、悔しい思いをしたので期末テストで頑張りたい。

11月10日 土曜日 午前
HSK 試験
場所 北京语言大学
内容 ・ HSK(汉语水平考试)4級の筆記テスト

### 内容および所感

4級は授業で使っている教科書のレベルであるため、授業をしっかりと受けていれば合格することができる。インターネット申し込みをして、電子マネーで受験料を払った。受験方法と場所を選択できる。本屋さんで HSK4 級のテキストを買って勉強していた。いずれ HSK を日本で受けるのであれば中国にいるうちに受けたほうが合格しやすいし、日本よりも受験料が安いので、留学中に受験することを勧める。

11月12日月曜日～11月17日土曜日
研修旅行
場所 江西省
内容 ・ 寝台列車に乗って江西省へ移動 ・ 陶器博物館見学 ・ 景德鎮陶器大学にてろくろや皿に絵を描く体験 ・ 世界自然遺産である三清山に登る ・ 村を見学

### 内容および所感

江西省の景德鎮は陶器が特産物で、陶器を作っているところや陶器博物館に行った後自分でも作品を作ったため、より理解が深まった。また世界自然遺産である三清山に登り、きれいな景色を見れる予定だったが、この日は天気が悪く、上に行けば行くほど霧が濃くなり辺り一面真っ白だったため景色を見ることができなかった。また江西省は北京より雨が多く降るため、空気が乾燥していなかった。

11月25日 日曜日 午後
日韓交流会
場所 体育館屋上
内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・アイスブレイク</li> <li>・障害物リレー</li> <li>・大縄跳び</li> <li>・玉入れ</li> <li>・ドッジボール</li> </ul>

### 内容および所感

日本人会と韓国国会が主催する日韓交流会で運動会をした。北京師範大学にいる日本人と韓国人が参加することができる。ゲームを通して仲良くなることができた。勝ったチームには景品としてお菓子が配られた。

12月27日木曜日～12月28日金曜日
期末テスト
内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・读写・会話・聴力のテスト</li> </ul>

### 内容および所感

中間テストより少しだけ難易度が上がっていたように感じた。教科書以外の先生が黒板にしか書かなかったことが、結構重要であるため細かいところまでの復習が必要であった。前回と同様、会話だけ口頭試験も別日にあった。前回悔しい思いをした口頭試験は今回練習をたくさんして臨んだが、あまり満足する受け答えはできなかった。中国語で相手に伝わるように自分の意見を言うということが今後の課題である。

1月7日 月曜日
帰国 5:00
内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝5時に寮のロビー集合</li> <li>・ルームキーを返却し、入寮時に払ったデポジットを返してもらう</li> <li>・管理人が部屋を点検</li> <li>・北京空港までバスで移動</li> </ul>

- ・北京空港から成田空港まで飛行機で移動
- ・成田空港にて入国審査、荷物受け取り
- ・乗り継いで新潟空港まで飛行機で移動
- ・新潟空港にて解散

### 移動の所感

日本から来る際には先生の引率があったが、帰りは自分たちだけで帰らなくてはならなかった、団長を中心にみんなで協力して行動することができた。北京空港の免税店で、残ったお金を使うために買い物をした。

帰る前に荷物をパッキングする際に決められた重量を超えないように、北京師範大学本科生の日本人で体重計を持っている先輩から借りて、確認しながら行った。

ひとりひとりが他人任せではなく帰る手順を理解していたため、トラブルはなく無事に帰国することができた。

